

# 「感性豊かに、そして追求心」

株式会社花耶は、昭和52年（1977年）に美容室花耶として現会長の川井が4人で始めました。私が社長に就任したのが平成17年ですから、今年で11年になります。現在、私も会長も店に立ち、お客様に携わらせていただいております。

私の社長就任当時は、会長と血縁関係が無い者の就任がめずらしく、周囲の方々からは就任の経緯等を聞かれることがかなり多かったですと記憶しています。それまでの美容業界では大変稀なケースでしたので、責任の大きさを痛感致しました。

社長に就任した当時は、美容業界の労働環境は他業界に比べて厳しい状況でした。美容をめざす若者が安心して働ける環境づくりと、50歳、60歳になっても生き生きと会社の一員として力を発揮できるような環境を整えられるか等、さまざまな課題がありました。

## 「大人社会」への対応

美容業界は現在、変わり目の時期にあると感じています。美容師を志して入社して来る若い人たちも年々減少傾向にあります。私たちの業界は一見華やかに見えますが、一人前のスタイリストになるには3年かかります。そこからお客様に入客できたとしても、スタッフやお客様から信頼していただくまで、個人差はありますが更に数年かかります。

今の時代は「大人社会」と言われております。大人の女性をキレイにし満足していただくためには、色々な知識と技術と対応力が必要です。私がこの業界に入った時よりも多くの薬剤や技術の知識を学び、多様化するお客様一人一人のニーズに対応しなければなりません。集客手法は割引中心で、ほかの美容室と同じようなサービスでは、自店の特徴もなかなか出せません。

## 新たな美容理論との出会い

そんな時に出会いがありました。それは、東京で日本美容デザイン研究所を立ち上げ、20年近く「お客様の心を形にする」をテーマに、顔を分析する手法や造形を分析する知識、そして顔や造形から受ける印象等を研究し理論化するノウハウを持った方との出会いでした。ご自分で本を出版し、雑誌等でも連載を持ち、全国各地で講習活動も行っていました。その方が蓄積されたノウハウは多岐に亘り、とても興味深く納得できる理論でしたので大変感銘を受けました。

しかしこの理論には、現場の美容師さんがなかなか使いこなせないという問題がありました。使い物にならないのではないかと考えていた時に、最後にこの理論を託されたのが私でした。それから月に一度、紹介していただいた仙台の社長さんの会社で勉強会が始まりました。美容の歴史と時代の流れから始まり、顧客



株式会社花耶  
（盛岡市）  
代表取締役社長  
**盛田 忠臣**



共同開発による顔分析アプリ「ビューティエキスパート」を用いたヘアスタイル提案

理解の為のパーソナル診断、顔分析理論、造形分析、造形心理等でした。学ぶことは本場に多岐に亘り、充実した2年間となりました。

そして仙台で学んだことを次の日お客様に話す時、「そういうことを知っていたか」とか、「今まで色々な美容室に行ったけど初めて聞くことで楽しい」等、手ごたえを感じましたし、周りのスタッフも興味を持ったようでした。

### 現場での理論の実践

新たな学びが深まるなかで、理論を託された私に最も期待されたことは、現場で活用できるのか、ということでした。しかし、学べば学ぶほど、試せば試すほど複雑で、何より面倒臭いことこの連続です。この複雑で面倒臭いことを取

り入れるために何度もスタッフとコミュニケーションを取り、これからの時代に必要な事項を確認し合い、試行錯誤のなかで進めてきました。

この間、スタッフに言ってきたのは、これからは、「似合わせる」から「お客様のなりたいたい」を形にする時代だ、ということでした。つまり「似合わせる」は美容師目線であり、「見られたい」は顧客目線だということです。一人一人のお客様を理解し、顔を知る技術と、「なりたいたい」を見られたい」を形にするために造形学を学び、造形学から受ける心理を知ることが大切だと思

ったからです。

このような知識を持つことは、大人社会の中で若いスタッフもプロとして認めていただき仕事に誇りと自信を持って働けるのではないかと思います。今までの「見て覚えろ」の感性の部分を、何とか理論化し実践して伝えることが出来るようになってきました。



共同研究による抗酸化作用を持った新商品「RSイオンジュレ」

### 地域連携で新たな挑戦

その後、顔の分析をもっと正確に、客観的に診断するために、国の支援を受け岩手大学との共同研究で、顔分析アプリを開発することができました。美容室でも活用しております。先日は銀座のアップルストアさんの協力で東京の美容師さんにも紹介することが出来、ぜひ取り入れてほしいとお声をいただきました。全国に広めていける手ごたえも感じております。今までは東京の情報を中心でしたが、これからはもっと地方から発信して行きたいと考えております。

多くのお客様が行っているヘアカラーは、1剤、2剤と薬剤を混ぜて酸化させることで発色させます。しかし、2剤として使用する薬剤の過酸化水素が頭皮の老化を促進します。弊社では、4〜5年前からヘアカラーのダメージを解消するための商品作りに取り組み、研究を重ねてきました。美容業界でもなかなか表に出にくい課題に対し、業界にはない発想で、メーカーには無い様な抗酸化商品が出来上がりました。少しづつではありますが、口コミで美容室に広がり始めております。

地方が元気にならなければ日本全体も元気になれないと思います。問題・課題は地方から始まります。その課題に向き合い、変革を恐れずに挑戦し続けなければならないと考えます。

その為には、これからもオモシロイと思える感性を豊かに、そして追求心を忘れずに持ち続けて行きたいと思えます。